

目 次

| | |
|--|-----|
| I . 総括研究年度終了報告 | |
| 化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化 ----- | 3 |
| 相場 節也 (東北大学病院・皮膚科・教授) | |
| II . 分担研究年度終了報告 | |
| 化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性データの集積、国際標準化へ向けてのvalidation試験の 計画、国際会議の企画、進行 ----- | 27 |
| 小島 肇 (国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター・ 安全性予測評価部・室長) | |
| 化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 化学物質のMulti-ImmunoTox assayによる解析, validation ----- | 57 |
| 中島 芳浩 (産業技術総合研究所・健康工学研究部門・ 研究グループ長) | |
| 化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 (Multi-ImmunoTox assay) 国際標準化へ向けた 評価法の検討 ----- | 66 |
| 安野 理恵 (産業技術総合研究所・バイオメディカル研究部門・ 主任研究員) | |
| 化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： MITAの国際標準化へ向けてのvalidation試験 ----- | 78 |
| 山影 康次 ((一財)食品薬品安全センター秦野研究所・主任研究員) | |
| 化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： 免疫毒性評価試験法 Multi-ImmunoToxicity assay の 判定アルゴリズムの検討 ----- | 101 |
| 大森 崇 (神戸大学医学部附属病院・臨床研究推進センター・ 特命教授) | |
| 化学物質の動物個体レベルの免疫毒性データ集積とそれに基づくMulti-ImmunoTox assay (MITA) による予測性試験法の確立と国際標準化： IL-1 Luc assayクライテリアの設定ならびにプロトコルの作成 --- | 106 |
| 木村 裕 (東北大学病院・皮膚科・助教) | |
| III . その他 | |
| Appendix 1. IL-2 Luc assay validation report draft ----- | 121 |
| Appendix 2. Multi-Immuno Tox Assay protocol for THP-G1b (TGCHAC-A4) ver. 008.1E ----- | 380 |
| IV . 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- | 421 |
| V . 倫理審査等報告書の写し ----- | 424 |